

2017年5月29日掲載

## 歯周病の検査

### 歯と歯ぐきの溝 重要

歯を失う原因でもあり、糖尿病などの全身疾患とも関係が深いとされる歯周病ですが、予防のため、進行させないためには定期的な検査が重要です。

歯周病の検査とは具体的にどのようなことをするのかご存じでしょうか？基本となるのが「歯周ポケット」の深さの検査です。歯周ポケットとは歯と歯ぐきの間にある溝のことですが、この歯周ポケットが深いと、そこに歯周病菌が繁殖したり、歯石が沈着したりして、歯周病が進行していきます。進行すると歯周ポケットはさらに深くなり悪循環となってしまうので、歯周ポケットの深さを検査することはとても重要となります。

歯周ポケットの深さは目盛りが付いた専用の器具で調べるのですが、3ミリを超えて、4ミリ以上になると要注意です。他の検査項目としては、歯石の沈着具合や歯周ポケットからの出血の有無、歯の動揺度などを調べます。これらの検査項目と患者さんからの問診（口臭や痛みなどの症状、喫煙の有無、歯磨きの習慣、全身疾患など）の内容も考慮しながら診断をします。

より精密な検査が必要な場合はレントゲンで歯を支えている骨の状態を調べたり、歯周ポケットの測定範囲を広げたりもします。

慢性的な炎症の歯周病の場合、自覚症状を感じることなく進行してしまうこともあるので、定期的に検診を受けて、歯周病を予防する意識を持つことが大切です。